

令和5年度の具体的な取組内容

①学びの質の向上	<p>○児童の「知りたい」「やってみたい」という思いや願いをもとに学習課題を設定し、相手意識・目的意識をもって学習に取り組める授業づくりをしました。</p> <p>○タブレット端末を利用して、自分の考えを表現し、伝え合う活動を多く取り入れながら学習活動を行いました。</p> <p>○学級担任以外の先生が授業に関わることで、様々な教員とつながりをもち安心して学習に取り組める環境を整えました。</p>
②豊かな心	<p>○きらきら集会を中心として、ペア学年での学習活動などの異学年交流を継続しました。</p> <p>○自分や相手を大切にすることを考えることを目的に、週に一度の道徳科の授業や12月の人権週間の取組を行いました。</p> <p>○朝読書や読み聞かせ等の読書活動、全校での芸術鑑賞会などを通して、心を耕す機会を設けました。</p>
③健やかな体	<p>○月に1度、朝の時間に体力アップ集会として縄跳びや大縄を行ったり、運動委員会を中心にしっぽとり大会を行ったりし、体力の向上を図りました。</p> <p>○一人ひとりがめあてをもったり、タブレット端末を有効に活用したりすることで、主体的に体育科の学習に取り組めるようにしました。</p>
④地域連携・地域学校協働活動本部	<p>○「六つ西かがやき☆レンジャーズ」の参加募集の継続、学校・地域コーディネーターを中心とした持続可能な協力体制を確立しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書レンジャーズによる読み聞かせ ・環境レンジャーズによる芝生・花壇の手入れ ・見守りレンジャーズによる登下校時の見守り ・学習・行事レンジャーズによる運動会への協力 ・ピンポイントレンジャーズによる遠足の見守り <p>○六ツ川中ブロック4校で集まり、各校の児童の様子や育てたい児童の姿について交流し、指導の方向性を見通しをもちました。</p>
⑤いじめへの対応	<p>○定期的に学校生活に関わるアンケートを実施し、必要に応じて教育相談を行い、子どもの困り感に寄り添うようにしました。</p> <p>○毎月のいじめ防止対策会議での情報の共有や対応策の検討、未然防止に向けた取組に加え、学年・専任・管理職等で組織的に事案対応をしました。</p>
⑥人材育成・組織運営	<p>○経験年数が浅い教職員を中心としたメンターチームによる研修を月に一度のペースで行ったり、夏季休業を活用して全教職員による研修を行ったりすることで、授業力の向上を図ったり、児童理解に役立てたりしました。</p>
⑦特別支援教育	<p>○チャレンジルーム（特別支援教室）や国際教室において、個の状況や課題に応じた学習を行いました。</p> <p>○かがやき（個別支援学級）では、複数の担任で授業を行ったり、少人数で学習を進めたりして、きめ細やかな支援・指導を行いました。また、交流学級での朝の会や行事、教科の学習を通して、相互の学び合う力を育ててきました。</p> <p>○児童・保護者の困り感に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携して支援の方法を検討し、実施しました。</p>
⑧児童指導	<p>○六ツ川中学校ブロックで取り組む「あせかけ運動」や学校のきまりをもとに、安全で落ち着いた生活を大切にしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あ…あいさつ せ…清掃 か…感謝 け…けじめ <p>○学校生活でのきまりや活動について、「なぜ守る必要があるのか」「どのように取り組むことが大切なのか」を児童に問いかけ、一緒に考えながら必要性を伝えました。</p>
⑨幼保小連携	<p>○幼稚園・保育園の交流を積極的に行い、相手のために自分ができることを考える機会を設けました。</p> <p>○幼稚園・保育園生活から小学校生活に円滑に移行できるようなカリキュラムを作成し、安心して小学校生活をスタートすることができるようにしました。</p>